



小浜西組町並み協議会 25年度 第4回役員会報告

日 時：平成26年3月31日（月） 19:30～21:20

場 所：町並み保存資料館

出席者：澤口、大田、村松、佐野、三宅、石野、大島洋、中島、桂田、
百田、野瀬、松澤（市役所）
（以上敬称略）

開会の辞 会長挨拶

小浜市より報告、依頼事項

1) 平成26年度景観形成助成事業の募集について

本年は4月中に「利用申込書」を提出していただき、市役所の審査会で内容を審査し、決定したあと、「申請書」を提出していただくという二段構えでいきます。周知徹底をお願いします。

2) 平成26年度、27年度の重伝建補助事業について

平成26年度は、鹿島の主屋、大原の主屋、飛鳥の主屋（二件）、大原のお寺の本堂、大原のお寺の庫裏の、計6件を実施します。平成27年度については、本日が締め切りで、現在4件の利用希望があります。まだ余裕がありますので、希望の方は4月中に資料を揃えて提出をお願いいたします。

3) 伝建協について

参加者は4月4日までに申し込んで下さい。

4) 街路整備にかかる地元との協議ならびに周知徹底について

12月、2月、3月に3回の街路整備のワーキングが開催され、街路整備の大枠を協議しました。当協議会からは中島さん、山田さん、桂田さんの3名が出席し、各区の区長さんもお出席されておられました。これから実施設計になりますが、事業化が中断とならないよう、地元の意見や要望をまとめていく組織としての周知徹底や協力依頼をお願いいたしますと市役所より要望がありました。

5) その他

各区説明会の開催について質問があり、説明会ではなく、見学会の中で説明をしていくことについて検討していくことになりました。

また、選定から5年、代替わりもしているので、もう一度同意をとる努力をされてはどうかという意見が出ました。

協議事項

1) 総会について

開催日程は6月6日に決定しました。場所はふれあいセンターを押さえました。（役員

会後の決定事項です)

資料を検討し、来年度、観光目的ではない本当の視察研修を事業計画に入れることとなりました。

予算は、各委員長が事業計画と概算要求を提出し、再度編纂することになりました。

総会資料に組織図を載せます。その中で各委員会、副委員長を選任し、役員としていきたいと思います。

監査の村上さん、梅田さんから交代の要請が出ていますので、検討したいと思います。

2) 資料館の返還問題について

現在の資料館の賃貸契約は27年秋までですので、市役所の方で期間延長を交渉中です。できない場合は代替施設をお願いしますとの要望をしました。

3) 各委員会報告

活性化委員会：町家deフェスタは、2年間やってきたので続けていきたいと思っています。平成26年度は「いいとこ小浜協働推進事業」に取り組みたいと考えています。

ホームページをリニューアルしましたので、ご覧ください。

<http://obama-nishigumi.sakura.ne.jp/> です。

閉会宣言



金沢市では、平成23年11月に卯辰山麓地区、平成24年12月には寺町台地区が重伝建保存地区に選定されました。両地区の方々と市の職員さん総勢24名が平成26年3月24日(月)小浜西組に現地視察に来られました。

小浜西組視察の成果

卯辰山麓まちづくり協議会 事務局担当 森 博

小浜西組の重伝建地区では会長様をはじめ、ボランティアの人達が何回もの会議を開き、月報を発行して、地域活性化の為に熱心に活動されています。それを考えると私どもは何もしていないというのが正直なところですよ。

早速視察の成果がありました。私どもの卯辰山麓地区はそんなに整備されていない地区ですが、隣の『東山ひがし』は完璧なほどに整備され、観光客が常に飽和状態となっているようです。卯辰山麓は観光客を呼び込むために整備している地区ではないのですが、『東山ひがし』が飽和状態になり、観光客が当地へも流れてきているようです。このことが積極性を欠いているのかも知れません。

観光地は「一回行ったらもういいや」と言われぬように本物を残していく事を第一義として環境作りを取り進めていかなければ、二度三度と足を延ばしてくれるようにはならないと思います。先祖が残した貴重な文化遺産、歴史に裏付けられた本物、人間の五感に訴えかける本物、見て、聴いて、触って、匂いをかいで、味を見るこれができるれば郷愁を誘い、帰趨本能にも似たものをくすぐられ、又行きたくなくなるのではないのでしょうか。

例えば『常高寺』がお初さんの菩提寺と聞き、誰しものが共有する歴史認識に大変興味を

もったものです。近くまで行くことができなかつたのですが、同じ場所に立つというだけで、浅井長政やお市の方、織田信長までもの匂いや声まで感じ取れたかのような興奮と喜びを覚えました。また数年前にもこちらの方に来る機会がありましたが、焼き鯖の焼きたてをその場で食べた時の味は今でも



小浜西組視察の様子



小浜西組の取り組みを熱心に聞かれる卯辰山麓地区まちづくり協議会のみなさん

忘れられないほどおいしかったのを覚えています。今回は焼きたてがなく残念でした。

この地区にしかない地域の特性を活かし、それを実現することができればこれにすぐるものはないでしょう。『東山ひがし』の伝統的建造物群はまさに時代をタイムスリップしたかの感があり人気がありますが、欲を言えば芸妓さんの姿が見えればいいと思いますし、三味線や太鼓の音、長唄が聞こえればなおいいと思います。商業ゾーンにすることなく、お茶屋文化を感じてもらえる文化ゾーンとして継承していくことが大事だろうと思います。一方、卯辰山麓地区は県内の人々はもちろん、観光客の人々にも歩いてもらうことで古い時代の町家文化を肌で感じてもらい、その中には由緒のある寺社が点在しているので、社宝を観て歴史に触れ22ヘクタールの地域を余すことなく本物を訪ねて、のんびりと歩き癒しを感じて欲しい地域にしていきたいと思えます。

先の小浜西組地区視察につきましては、種々のご配慮、心より感謝申し上げます。皆様の一生懸命さが伝わってまいりました。と同時に私共一同は肝に銘じた次第です。

小浜西組町並み協議会からの

●報告とお知らせ●

- 建築委員会より 平成26年3月31日(月) 建築委員会を行ないました。
《今回の議題》

 - 1) 通過車両抑制の為の勉強会 他地区の交通規制の例をあげて委員長が説明。
 - 2) 小浜西組修理工事の仕様書(案)を委員長が説明。今後仕様書を作成し、町並みに統一感が得られるようにするのが目的。まだまだ検討する必要があると課題を残し閉会した。
- 町並み保存資料館企画委員会より
鯉のぼりと五月人形展を開催中です。
日時：4月25日(金)～5月17日(土) 午前9時～午後5時(火曜日休館)
- 町並み保存資料館の管理者について
今年度一年間は6人体制で行ないます。
大島久男(貴船) 吉岡和子(鹿島) 平井礼子(白鳥) 杉崎康代(東勢)
石野幸子(貴船) 塚本ヨシ枝(日吉) よろしくお祈りします。





小浜市が行なっている小浜西組魅力アップ事業の一環である～着物de三味線体験～が平成26年3月21日(金・祝)第5回をもって終了いたしました。最終回に参加された方からの投稿です。

着物 de 三味線体験をして

宮田瑛里 (若狭町)



今回の着物 de 三味線体験は念願の待ちに待った体験でした。以前から何度か案内をいただいていたのですが、なかなか都合が合わず、やっと参加することができました。

まず着物に着替えたのですが、普段着物に縁がないので、たくさんの着物の中から自分の好みに合うものを選ぶのはワクワクしました。その後、帯やバッグ

などの小物まで自分達で選ぶことができ、出来上がりを早く鏡で見たいという気持ちでいっぱいでした。

あいにく当日は悪天候でしたが、着物を着て外に出て見るといつもと違う雰囲気で見ることができました。いつもは車で通り過ぎるばかりで、風情ある三丁町の通りを眺めることもなく通過していましたが、はんなりとした気分で写真を撮ったり、もっとゆっくり散策してみたいという気持ちが生まれました。



待望の三味線体験では三味線の持ち方など初歩的なことから教えていただき、少しだけ

メロディーを演奏することができました。私は三味線やギターのような弦楽器は今まで触ったことがなかったので、まず弦を弾く感触が新鮮で、初めは音が出るだけでウキウキしました。弦を押えるわずかな位置のズレで音が変わってしまったり、普段あまり使わない左手を細かく動かしたので一フレーズの演奏で必死でした。それでも少し慣れてくるともっと上手になりたいと三味線の魅力に引き込まれました。



今回まで、こんな身近で着物や三味線の体験ができることを知りませんでした。着物や古い町並みは古都・京都をイメージしますが、友人たちにも地元の小浜でこんな楽しい体験ができることを広めていきたいと思いました。イベント等があれば何でも教えて下さい。貴重な体験をありがとうございました。



町並み月報に地域住民が自由に投稿できるコーナーです。協議会までどしどしお寄せください。(町並み保存資料館ポストへ投函ください。)